

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.40		-			2.9
1 音環境		3.4	0.15	3.0	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		5.0	0.40	4.0	0.40			
1 開口部遮音性能	外部サッシの遮音性能はT2で設定している。	5.0	1.00	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能	客室境壁に乾式耐火間仕切壁A、Dr-55以上を想定。	1.0	-	5.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		1.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		2.0	-	2.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		2.8	0.35	2.7	1.00			2.8
2.1 室温制御		2.7	0.50	2.5	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57			
2 外皮性能		2.0	0.25	2.0	0.43			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境		2.3	0.25	3.0	1.00			2.7
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	E-1客室タイプ昼光率1.9%、H-1客室タイプ昼光率6.3%	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.30			
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	1.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.0	0.25	3.0	1.00			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.8
1 機能性		3.6	0.40	2.5	1.00			2.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	1.5	0.60			
1 広さ・収納性		1.0	-	1.0	0.50			
2 高度情報通信設備対応		2.0	-	2.0	0.50			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.0	0.40			
1 広さ感・景観		1.0	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	歴史のある保養地として考えた雰囲気をもった内装材料を選定。	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	住宅品質確保促進に関する法律におけるコンクリートの評価方法基準で等級3相当。	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		1.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外、厨房ダクトはガルバリウムとして、長寿命化を図っている。	4.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	水道用塩ビライニング管、耐火二層管、冷媒管等により長寿命化。 給水管:塩ビライニング管VLP(B) 給湯管:一般配管用ステンレス管(C)	4.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	既存の井戸を上水として利用する。	3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		4.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.0	1.00	2.3
3.1 空間のゆとり				-	-	1.0	0.50	
1 階高のゆとり				-	-	1.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ				-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性				3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性				3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性				3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m =0.88 外部・屋根に断熱材を設置し、熱負荷低減を図っている。	4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			BEIm 非住宅 0.72 住宅(専有部) -	4.0	0.50	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			BEIm 非住宅 0.72 住宅(専有部) -	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護				3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水			節水コマ及び節水型便器を用いている。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			既存の井戸を上水として利用する。	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			機器・材料類の長寿命化により、CO2削減を計ります。 LCCO2排出率77%。	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	1.00	-	-	
2 振動				-	-	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
2 壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	